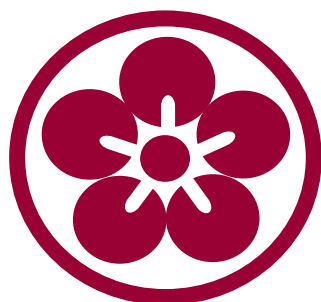


令和7年度

**大山小・中学校 第1回大山CS委員会
(学校運営協議会)**



令和7年6月3日（火）

10:30～11:30

日田市立大山小・中学校

日田市大山町西大山3615-1

TEL 0973-52-2052 (小)

0973-52-2051 (中)

FAX 0973-52-2064

地域とともにある学校が、大山の明日を元気にします！

大山小中学校コミュニティ・スクール

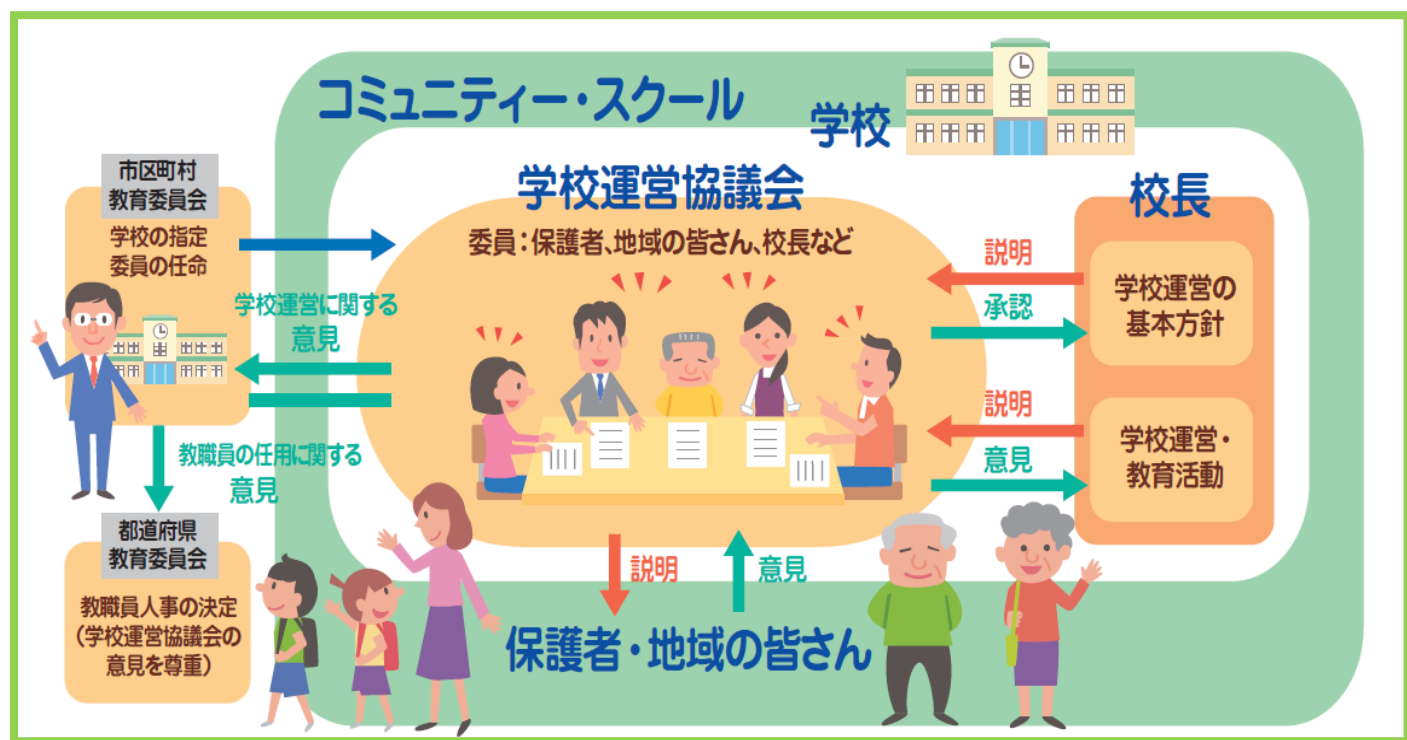
大山地区の皆さまへ

日頃より本校教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

平成30年度、大山小中学校は、国よりコミュニティ・スクールの指定を受けました。これは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

大山小中学校が、子どもたちにとってよりいっそう通いたい学校、学びたい教室になるためには、地域や保護者の皆さまのご理解とご協力が不可欠です。皆さまの「コミュニティ・スクール」についてのご理解・ご協力をお願いいたします。

コミュニティ・スクールのイメージ図



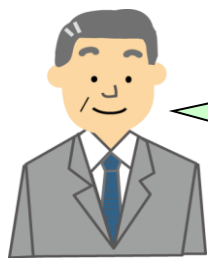
*コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取り組みがおこなわれます。

大山小学校・中学校コミュニティ・スクール推進委員会

日田市大山町西大山3615番地1

52-2051 (事務局 大山中学校)

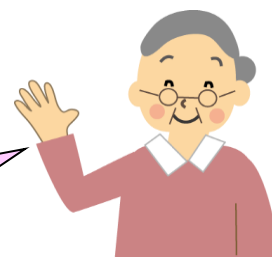
地域から学ぶ、地域をつなぐ、地域とともに考える



学校

大山地区のみなさんから学習のサポートをお願いできますか？

それなら、わたしたちが本の読み聞かせをしてあげますよ。



農業の学習なら、うちの畑に見に来るといいよ。



地域の方

学校に行って、裁縫や毛筆を教えてあげましょう。



地域の方



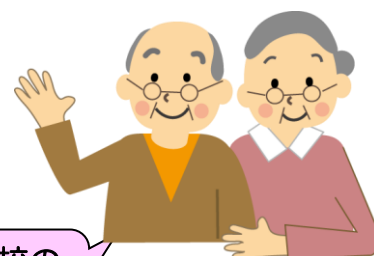
子どもたちに職場で働く体験をさせてあげるよ。

登下校の見守りがあるとありがたいのですが・・・



保護者

それなら、わたしたちが登下校の見守りをしてあげよう。



地域の方

これまでも、地域や保護者のみなさんから、美化作業や資源回収、放課後学習サポート、夏休みのラジオ体操、地域探検、鬼火焚きなどたくさんのサポートをいただきながら学校教育を進めてきました。大山の子どもたちのためによりいっそう充実した教育ができるよう、話し合っていきましょう。



学校

肝いる人にまかせるんじゃなくて、みんなで大山の子どもを育てるという考えがいいな

学校へのサポートをきっかけに地域の絆も深まるね！

なにより、子どもたちが大山で育ったことを誇らしく思うだろうね！



大山小学校・大山中学校 学校運営協議会規約

(目的)

第1条 この規則は地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第47条の6の規定に基づき日田市立大山小学校及び日田市立大山中学校（以下「学校」という）に設置する学校運営協議会（以下「協議会」という）について、必要な事項を定める。

(趣旨)

第2条 協議会は、学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、日田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や、保護者及び地域住民等による学校運営への支援・協力を促進することにより、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むものとする。

(設置)

第3条 大山小学校及び大山中学校について一つの協議会を設置するものとする。

(学校運営に関する基本的な方針の承認)

第4条 校長は、次の各号に掲げる事項について毎年度基本的な方針を作成し、協議会の承認を得るものとする。

- (1) 教育課程の編成に関する事
- (2) 学校経営計画に関する事
- (3) 組織編成に関する事
- (4) その他教育委員会が必要と認める事項に関する事

2 校長は、前項において承認された基本的な方針に従って学校運営を行うこととする。ただし、前項の承認が得られない場合は、校長は、協議会委員の意見を聴取して暫定的な措置を定め、当該承認が得られるまでの間、学校運営を行うものとする。

(学校運営等に関する意見の申し出)

第5条 協議会は、学校の運営全般について、教育委員会又は校長に対して、意見を述べることができる。

2 協議会は、第2条に定める趣旨を踏まえ、学校の職員の採用その他の任用に関して別に定める事項について、教育委員会を経由し、大分県教育委員会に対して意見を述べることができる。

3 協議会は、前2項の規定により教育委員会に対して意見を述べるときは、あらかじめ、学校の校長の意見を聴取するものとする。

(学校運営等に関する評価)

第6条 協議会は、毎年度1回以上、対象学校の運営状況等について評価を行うものとする。

(住民参画の促進等のための情報提供)

第7条 協議会は、学校の運営について、地域住民等の理解、協力、参画等が促進されるよう努めるものとする。

2 協議会は、前項の目的を達成するため、学校の運営及び当該運営への必要な支援に関する協議の結果に関する情報を積極的に提供しよう努めなければならない。

(委員の任命)

第8条 協議会の委員は25名以内とし、次の各号に掲げる者のうちから、校長の推薦により教育委員

会が任命する。

- (1) 保護者
- (2) 地域住民
- (3) 学校の運営に資する活動を行う者
- (4) 学校の校長
- (5) 学校の教職員
- (6) 学識経験者
- (7) 関係機関の職員
- (8) その他、教育委員会が適当と認める者

2 委員の辞職等により欠員が生じた場合には、教育委員会は速やかに新たな委員を任命するものとする。

3 委員は特別職の地方公務員の身分を有する。

(守秘義務等)

第9条 委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

2 前項のほか、委員は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 委員たるにふさわしくない非行をおこなうこと
- (2) 委員としての地位を営利行為、政治活動、宗教活動等に不当に利用すること
- (3) その他、協議会及び指定学校の運営に著しく支障をきたす言動を行うこと

(任期)

第10条 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

2 第8条第2項の規定により新たに任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第11条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により、選出する。

2 会長が会議を招集し、議事を掌る

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を行うものとする。

(議事)

第12条 協議会は、会長が開催日前に議案を示して招集する。ただし、緊急を要する場合においては、この限りでない。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(会議の公開)

第13条 協議会は、特別の事情がない限り公開とする。

2 会議を傍聴しようとする者は、あらかじめ会長に申し出なければならない。

3 傍聴人は、会議の進行を妨げる行為をしてはならない。

令和7年度 大山小中コミュニティ・スクール組織図

《共有目標》 ふるさと大山を誇りとし、次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成

CS会長

確かな学びチーム

- 小学校育友会長 リーダー
- ・学識経験者
- ・公民館長
- ・おおやまこども園園長
- ・育友会文化教養部長
- ・育友会CS担当
- ・小学校教頭
- ・中学校教務

豊かな心チーム

- CS副会長 リーダー
- ・大山駐在所
- ・主任児童委員
- ・主任児童委員
- ・育友会生活指導部長
- ・育友会施設環境部長
- ・中学校校長
- ・小学校教務

健やかな体チーム

- 中学校育友会長 リーダー
- ・自治会長 副会長
- ・大山振興局長
- ・大山すみいい会事務局
- ・育友会顧問
- ・育友会母親部長
- ・育友会地域文化部長
- ・中学校教頭 ・小学校校長

小中学校（職員）組織
確かな学びプロジェクトチーム

- ・職場見学（小学校）
- ・職場体験（中学校）
- ・ゲストティーチャー
- ・水曜塾（中学校）
- ・読み聞かせ（育友会）

小中学校（職員）組織
豊かな心プロジェクトチーム

- ・登下校指導
- ・あいさつ指導
- ・人権学習
- ・平和学習
- ・NO メディア運動
- ・環境整備 ・地域貢献活動

小中学校（職員）組織
健やかな体プロジェクトチーム

- ・郷土料理体験
- ・食育教室
- ・運動会実行委員会
- ・合同災害避難訓練
- ・大山学習 もち米作り～餅つき
しめ縄づくり

広報部はチームに属さず、育友会広報紙などで、CSの活動についてお知らせする活動。

文化教養部

生活指導部

施設環境部

地域文化部

母親部

令和7年度 日田市立大山小学校経営方針

学校教育目標

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 大分県教育委員会
- 日田市教育委員会

「ふるさと大山を誇りとし 次代をたくましく生き抜く 児童生徒の育成」(小中共通)
「志を持ち 進んで学習や運動に取り組む児童の育成」(小学校)

日田市学校教育の重点方針
「夢と誇りを持って、たくましく生きる児童・生徒の育成」
重点方針
1. 「芯の通った学校組織を基盤とした教育水準の向上
2. 安全・安心な学校づくりや危機管理の徹底
3. 未来を切り拓き、ふるさとを愛する心をはぐくむ教育活動の充実

〈小中合言葉〉 志と和のころ

学校経営の基本方針 4・2・3の指導体制による小中一貫教育

施設一体型小中学校の良さを強みとし、全教職員連携しながら小中一貫教育の充実を図る

- 9年間を見通した教科指導の充実・学びの接続を重視した授業づくり
- ふるさと大山をテーマとした学校、家庭、地域の連携による特色ある学校づくり
- 淡窓教育とJRCの理念（気づき・考え・実行する）に基づく豊かな人間性の涵養

めざす学校像

- ◎安全・安心で児童が学ぶ学校
- ◎夢や目標に向かって励む学校
- ◎地域の中でともに歩む学校

めざす児童像

- ◎夢や目標を持ち、実現に向けて進んで取り組める児童
- ◎基礎・基本を身に付け、自分の考えを持ち共に学び合う児童
- ◎自他の良さを知り、協力して活動できる児童
- ◎自分の心と体を見つめながら進んで運動する児童

めざす教師像

- ◎社会人としての資質を持ち、学校経営に参画する教職員
- ◎理想を持ち、夢を語れる教職員
- ◎情熱と使命感を持ち、教師としての資質・力量を向上させる教職員
- ◎規範意識が高く、危機管理に優れている教職員

本年度の重点目標

基礎学力の習得と維持

思考力・判断力・表現力等の育成

学びに向かう力、人間性等の涵養

基礎学力の習得と維持

- ①AIドリルの積極的活用
- ②授業と連動した家庭学習の推進
- ③振り返り力の定着と向上

問題解決能力の向上

- ①質疑応答に関する適切な対話
- ②根拠を持ち、自分の考えを表現する場を保障する授業づくり
- ③多様な学習形態による学習の展開（個・ペア・班・グループ）
- ④家庭での対話（授業内容、読書等）

自尊感情の醸成

- ①自信を持って行う発表
・一人一発言
・自ら積極的に発表できる交流活動の推進
- ②次の学びに向かう力の獲得
- ③人間関係作りプログラムの充実

大山CS委員会

ICT活用指導力向上を図り、子どもと向き合う時間の確保に向けた学校における働き方改革の推進

【学校の教育目標】		「志を持ち、進んで学習や運動に取り組む児童の育成」			資質・能力との関連			担当
【育成を目指す資質・能力】		言語能力（言う，聞く，書く，発表する，質問する，対話する）			知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等の涵養	
重点目標	達成指標	重点的取組		取組指標				
基礎学力の習得と維持	○ 単元テスト80%以上児童を65%以上 ○ 単元テスト70%以下児童を20%以下 ○ 「ホームワークに毎回取り組んだ」と答える児童80%、担任80% ○ 反復横跳びにおいて男子（低）30回以下（中）35回以下（高）40回以下、女子（低）28回以下（中）33回以下（高）40回以下を20%以下にする。	学校	○ 弱点克服のためのやり直しの徹底とA I ドリルの活用 ○ 学年実態に応じたホームワークの設定	○ AIドリルを週4回以上（3年以上）活用する ○ 週1回のホームワークの設定	○			確かな学び
			○ 基礎体力の向上	○ 体育時間の準備運動（体操）の後に入れる。	○			健やかな体
		家庭	○ 生活ノートの確認と対話	○ 生活ノートに基づく対話	○		○	確かな学び
		地域	○ 「読み聞かせ」の実施	○ 毎月2回程度の読み聞かせ		○		
問題解決能力の向上	○ 課題に対して自分の考えを伝えることができた」と答える児童80%、そう判断する担任80% ○ 平日のメディアの使用時間を2時間以内にすることを、80%にする。	学校	○ 生徒指導の3機能を構築した授業展開	○ 週4回以上のペア、グループ、フリートーク交流 ○ ファミリー読書の交流	○	○		確かな学び
			○ 情報リテラシーの向上	○ 情報やメディアの利用についての保健等通信や授業等実施する。	○			健やかな体
		家庭	○ 「メディアは宿題の後で9時まで」の徹底 ○ 家庭での対話の促進	○ チェック週間の設定 ○ ファミリー読書への取り組み	○	○		
		地域	○ 積極的な授業参観	○ オープンスクール等授業見学日の設定			○	
自尊感情の醸成	○ 「自分にはよいところがある」と肯定的に答える児童の割合を65%以上 ○ チーム活動での満足度80%	学校	○ 共感的人間関係を構築する学習活動の展開。 ○ 人間関係づくりプログラムの実施	○ すて木の実に取り組む（ひそかな運動） ○ 毎週1回の人間関係プログラムの実施（学級、チーム）			○	豊かな心
			○ 長縄、リレー練習、チーム遊び、遠足などのチーム活動の充実	○ 学期毎個人目標の設定 毎月目標達成状況の確認と助言 学級・チームでの事例紹介			○	健やかな体
		家庭	○ キャリアノート・ホームワーク・ファミリー読書に関する対話促進	○ キャリアノートへのコメント記載と対話			○	確かな学び
		地域	○ 学校運営協議会を通じた地域学習・キャリア教育 ○ 地域、育友会行事の促進	○ ゲストティーチャーの派遣 ○ 育友会行事・地域行事への参加			○	
【働き方改革の推進】	○ 各月の目標退勤時間内に退勤する職員70%以上 ○ 働き方改革への意識が向上したと答える職員80%以上	学校等	○ 毎月の目標退勤時間の設定	○ 毎月の時間外勤務の状況把握と要因の検証と結果の周知 ○ 学期に1回以上の面談実施	管理職			
			○ プロジェクト会議等での業務改善	○ 学期に1回以上のプロジェクト会議等での現状把握と行事前などの業務シェア等実取組				
			○ 地域の学校支援活動の充実	○ 登下校・授業・行事等でのサポート協力				

令和7年度 日田市立大山中学校経営方針

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 大分県教育委員会
- 日田市教育委員会

学校教育目標

ふるさと大山を誇りとし 次代をたくましく
生き抜く 児童生徒の育成（小中共通）
高い志を持ち 主体的に学習や運動に取り組
む生徒の育成（中学校）

日田市学校教育の重点方針
「夢と誇りを持って、たくま
しく生きる児童・生徒の育成」
重点方針
1.「芯の通った学校組織を基
盤とした教育水準の向上
2.安全・安心な学校づくりや
危機管理の徹底
3.未来を切り拓き、ふるさと
を愛する心をはぐくむ教育活
動の充実

〈小中合言葉〉
志と和のこころ

学校経営の基本方針 4・2・3の指導体制による小中一貫教育

施設一体型小中学校の良さを強みとし、全教職員連携しながら小中一貫教育の充実を図る

- 9年間を見通した教科指導の充実・学びの接続を重視した授業づくり
- ふるさと大山をテーマとした学校、家庭、地域の連携による特色ある学校づくり
- 淡窓教育とJRCの理念（気づき・考え・実行する）に基づく豊かな人間性の涵養

めざす学校像

- ◎一人ひとりが将来の夢や目標に向かっ
て励む学校
- ◎生徒が授業に意欲的に取り組む学校
※主体的・対話的な学びを重視
- ◎社会性・協調性が身につく学校
※道徳・体験活動を重視

めざす生徒像

- ◎基礎・基本を身に着けた生徒
※基本的な生活習慣
基礎・基本の学習内容
- ◎自己の考えを論理的に表現できる
生徒
- ◎他者と対話しながら協力して社会
貢献に取り組む生徒

めざす教師像

- ◎授業力向上に絶えず努力する教師
- ◎実践的指導力を持ち、情熱を持って
指導にあたる教師
- ◎災害、いじめなどに迅速かつ適切に対
応する教師
- ◎「学校組織の一員である」という自覚の
もと、規範意識を持って行動する教師

本年度の重点目標

知識・技能の習得

思考力・判断力・
表現力等の育成

学びに向かう力
人間性等の涵養

「基礎的・基本的な 知識・技能の定着」

- 各教科における基礎・基本の定着
- 文章構成力や適切なことばを選ぶ
力の育成

「対話力・表現力の向上」

- 対話的な学びの充実・授業改善
- 各教科における思考力・判断力・
表現力の向上

「他者と協働する意欲や 課題解決力の育成」

- 課題解決学習の充実
- 地域貢献活動の実践
- 地域学習の充実

スローガン ○「凡事徹底で生活の基礎固め」～基本的生活習慣のレベルアップ～ ○「全力燃焼」～過程（プロセス）重視～

大山CS委員会

ICT活用指導力向上を図り、子どもと向き合う時間の確保に向けた学校における働き方改革の推進

(様式2)

令和7年度 学校評価の4点セット整理票

1学期版

日田市立

大山中

学校

令和7年 3月 19日

【学校の教育目標】		ふるさと大山を誇りとし、次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成（小・中学校共通） ～高い志を持ち、主体的に学習や運動に取り組む生徒の育成（中学校）～			資質・能力との関連			担当
【育成を目指す資質・能力】		対話力の向上			知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等	
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標					
基礎的・基本的な知識や技能の定着	○ 定期テスト（5教科）における問題データベースから出題する基礎・基本問題の平均正答率 70%以上 R6 3学期 63%	○ 基礎・基本の定着 ○ 文章構成や適切なことばを選ぶ力の育成	○ 2週間に1回問題データベースやキュビナを使った単元テストを実施 ○ 朝学習の時間に読書を行い、週末に読書日記を作成させる	○	○		健やかな体	
	○ 生徒アンケートで「使える表現が増えたり構成を考えて文章を書いたりできるようになった」と答える生徒 75%以上 R6 3学期 63%	○ 家庭内での会話の推進	○ 保護者は、毎日子どもとの会話を心掛け実践する。	○	○			
		○ あいさつ＋声かけを行う	○ 地域でのあいさつに声掛けをプラスして行い、会話する。	○	○			
表現力の向上	○ 期末テスト（全教科）における記述式回答の回答率 80%以上 R6 3学期 データなし	○ 短学活の充実	○ 毎日の短学活に「対話」させる場面を位置付ける		○		確かな学び	
	○ 期末テスト（全教科）における思考力・判断力・表現力を問う記述式問題の正答率 65%以上 R6 3学期 66%	○ 生徒活動の充実	○ 週1回の生徒活動の時間に問題解決的な展開を仕組み、全校生徒で意見交換をさせる		○	○		
	○ 生徒アンケートで「小集団（ペア）の話し合いで、自分の考えを友だちに伝えたり深めたりすることができた」と答える生徒 75%以上 R6 3学期 67%	○ 家庭学習の確立	○ 保護者は、学期に1回以上、家庭学習時間の点検・評価を行う		○			
		○ 表現する場の設定	○ 月1回の「読み聞かせ」終了後、感想発表や意見交換の場を設定する		○			
他者との協働	○ 生徒アンケートで「いじめや差別をしない・許さない生活ができた」と答える生徒 85%以上 R6 3学期 76%	○ いじめや差別をしない・許さない生徒育成のための生徒会活動の実践 ○ 地域貢献活動の実践	○ 大山中学校人権宣言及び、各学級の則に関する振り返りの場を学期に1回以上設定する。 ○ 生徒会は、地域貢献活動を学期に1回以上企画する。地域からの要請があった場合、呼びかけを行う。			○	豊かな心	
	○ 生徒アンケートで「大山町の一員として、故郷に貢献できる活動に関わりたい」と答える生徒 50%以上 R6 3学期 39%	○ 地域貢献活動への参加協力	○ 保護者は、生徒に地域貢献活動の募集があった場合、参加の声掛けや参加体制を整える。			○		
		○ 地域貢献活動の場の提供	○ 地域は、生徒が参加できる地域貢献活動をCSを通じて学期に1回以上提供する。			○		
【働き方改革の推進】	○ 各月の目標退勤時間内に退勤する職員 75%以上 R6 3学期 75%	○ チームや学年部を活用した業務の見直し ○ 地域の学校支援活動の充実	○ 管理職は月1回時間外勤務の状況把握と要因の検証を運営委員会で行うとともに、学期に1回の個人面談を行う ○ 学期に1回以上、授業や行事での補助人材を提供する。 ※学校運営協議会にて地域人材の情報提供をする。				管理職	
	○ 効果・効率的な働き方に努めた結果「時間外勤務時間が縮減した」実感を持つ職員 80%以上 R6 3学期 50%							

令和7年度 大山小中学校 コミュニティ・スクール活動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大山CS委員会			第1回CS委員会			第2回CS委員会 第1回学力向上会議			第3回CS委員会		第4回CS委員会 第2回学力向上会議	第5回CS委員会
学 校 行 事	小中合同入学式		中体連（中）		全校平和学習	中体連新人戦（中）	小中合同運動会 市駅伝大会（中）	小中合同縁鷹祭 （学校公開） 学校公開日（設定） 音楽会（小）	2学期末育友会 人権講演会 （学校公開）	大山っ子まつり （小） （学校公開）	鼓笛引き継ぎ式 （小） （学校公開）	9年生を送る会 中学校卒業式 年度末育友会 （学校公開） 小学校卒業式 お別れ遠足（小）
教育課程における「学校支援活動」★は特に支援をお願いしたい活動												
1 年 生					★平和学習（心）	★大山音頭指導（学）	秋みつけ学 （生活科）			★昔遊びを体験しよう （学活）（体）		
2 年 生		畑の先生 （生活科）（学）	町たんけん （生活科）（体）						市内町たんけん （生活科）（体）	お年寄りとの交流 （福祉センター）（心）		
3 年 生	★初めての毛筆 （書写）（学）	大山学習（体） （梅園，新開工場）	大山学習（体） （梅園） （川津鍛冶屋）	★書写展（学）					大山の魅力（社会 科）	大山の魅力良さをイ ンタビュー （社会科）	大山の魅力の旅 （社会科・総合的な 学習）	
4 年 生			大山の自然と 環境について （体）	★書写展（学） （3年生と同日で）		★大山学習（体） （ダム）	文教祭書写展					
5 年 生		初めての手縫い （家庭科）（学）	初めての手縫い（学） （家庭科） 大山学習（体） （川津鍛冶屋）	鍛冶屋さんは3年生で学 習。代わりに農業に関わ		大山学習（体） （シートスプリン	初めてのミシ縫い （家庭科）（学）	大山学習（体） （木の花がルテ）			林業について （社会科）	
6 年 生			★大山学習（体） （NPC運動・国際交流）									
7 年 生		読み聞かせ	学校周辺 ボランティア（心）		平和学習		学校周辺 ボランティア（心）	★地域学習（ダム）	学校周辺 ボランティア（心）		★職業人に学ぶ （学）	学校周辺 ボランティア（心）
8 年 生		読み聞かせ 職場体験（学） ※梅農家を含む（学）	★地域学習（ダム） （体）		平和学習							
9 年 生		読み聞かせ			平和学習						★感謝の会（体） ※梅枝もち作り	